

申込年月日 2026 年 ○月 ○日

①分野 (主たるもの1つに○をつけて下さい)	①. サークュラーエコノミー 2. カーボンニュートラル 3. ネイチャーポジティブ 4. その他 (4 を選択した場合は具体的に記入してください)	②実施主体 (複数者による申請の場合はグループに○をつけて下さい) 1. 企業 (大企業) 2. 企業 (中小企業) 3. 団体 4. 教育機関 ⑤. グループ (複数の企業・団体)
③「活動・教育」の名称 (50 文字以内)	申請する「技術・事業」の内容が的確かつ具体的に表現された名称を記入 * 表彰時に紹介するタイトルとして使用いたします。	
④申込者 (単独の企業等で申し込む場合には、申込者 1 のみ記載してください。申込みが 3 者を超える場合は、別紙により 4 者目から記載してください。)		
1	住所 〒123-4567 愛知県○○市○○町○○	・業種：製造業 ・創立年月日：19○○年○月○日 ・資本金：3,000 万円 ・従業員数：30 人 ・事業内容：○○○の製造
	(ふりがな) 企業・団体・教育機関名 ○○○かぶしがいしゃ ○○○株式会社	
	(ふりがな) 代表者の役職・氏名 だいひょうとりしまりやく ○○ ○○ 代表取締役 ○○ ○○	
2	住所 〒34-5678 名古屋市○○区○○町○○	・業種：NPO 法人 ・創立年月日：19○○年○月○日 ・資本金：一円 ・従業員数：20 人 ・事業内容：○○○の活動
	(ふりがな) 企業・団体・教育機関名 とくていひえいりかつどうほうじん ○○○○のかい 特定非営利活動法人 ○○○○の会	
	(ふりがな) 代表者の役職・氏名 だいひょう ○○ ○○ 代表 ○○ ○○	
3	住所 〒	・業種： ・創立年月日： 年 月 日 ・資本金： 円 ・従業員数： 人 ・事業内容：
	(ふりがな) 企業・団体・教育機関名	
	(ふりがな) 代表者の役職・氏名	

申込者が 3 者を超える場合、4 者目からは、「応募申込書 ④申込者 (別紙)」を使用し、記載してください。

⑤窓口となる代表の担当者	企業・団体・教育機関名	○○○株式会社	企業・団体・教育機関の組織・事業の概要が記載された資料 (パンフレットなど) を別途添付してください。 複数の企業・団体・教育機関等での申込の場合は、全ての申込者について、上記の資料を添付してください。
	部署名	○○○○部	
	(ふりがな)	あいち たろう	
	担当者氏名	愛知 太郎	
	住 所	〒123-4567 愛知県○○市○○町○○	
	電話番号	×××-123-4567	
	社用携帯番号	×××-123-4589	
	E-mail アドレス	123@○○○.co.jp	

⑥本事業の背景・課題等

○本事業の背景と課題

どのような背景により課題を設定したのか記入してください。

○課題解決に向けたフロー・プロセス

どのような「技術・事業」により課題を解決したのか具体的に記入してください。

○事業の成果とその展開状況

サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル及びネイチャーポジティブ等にどのように貢献するのか、また、業界や社会にどのような影響があるのか、具体的に記入してください。

なお、審査項目「先駆性・独創性」「環境負荷低減効果」「実績・将来性」「社会性・波及性」については、次項目以降に詳細を記入していただくため、ここではおおまかな内容としてください。

※ 当該「技術・事業」の写真、イメージ図等を添付してください。

パンフレットなど参考となる資料がありましたら添付してください。

⑦先駆性・独創性（既存の技術・事業と比較した新規性、優越性、独自性）

当該「技術・事業」について、下記の選考ポイントを参考にわかりやすく記入してください。

また、製品化されているものがある場合には、自社や他社の既存品との違いについて、特徴・性能・価格・再生利用率などの観点から記入してください。

《選考のポイント》

- ・ 業界等においてどのような先駆性、新規性があるか。
- ・ 従来のものからどれだけ進化、向上、発展したか。
- ・ 既存の技術であれば、どのような工夫を加えて独創的な技術・事業を創出したか。

例：既存技術＋異業種で活用するためのマイナーチェンジ

【既存の技術システム・事業モデル】

【当該技術システム・事業モデル】

一番アピールしたい内容については、競合他社（あるいは従前自社）とのプロセスや効果の違いについてフロー図等でわかりやすく記入してください。

⑧環境負荷低減効果

当該「技術・事業」について、下記の選考ポイントを参考にどれだけ効果があったのかを具体的に記入してください。

※ 実績ではなく見込みの場合については、その旨を記入してください。

《選考のポイント》（サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブに資するもの）

- ・ 資源投入量の削減量
- ・ 廃棄物発生量の削減量
- ・ 二酸化炭素排出量の削減量
- ・ 生物多様性の保全・再生への貢献度

⇒上記全てを網羅する必要はありませんが、派生的な効果も記入してください。

例：・埋立処分量が削減されることで最終処分場の延命化につながる。

・機械寿命が伸びることにより機械製造のための資源・エネルギーが削減される。

環境負荷低減効果を数値化できるものについては、従来の数値と当該「技術・事業」による数値を記入してください。

⑨実績・将来性

- ・ 特許・論文掲載の有無：特許取得済（特許番号 特願 2008-〇〇〇〇〇〇「〇〇〇〇〇〇」）
- ・ 受賞歴：〇〇財団「〇〇賞」（〇〇年）、〇〇学会「〇〇賞」（〇〇年）

当該「技術・事業」の実績（技術活用、製品販売数、シェア率、特許、受賞歴など）及び事業継続性について下記の選考ポイントを参考に記入してください。

当該「技術・事業」に関連する、特許・論文・評価実績の有無と、それについてアピールすべき点などがあれば記入してください。

《選考のポイント》

- ・ 技術活用、製品販売数、シェア率などについて具体的な実績がある（見込める）か。
- ・ 今後どのように展開し、環境、社会、経済にどう貢献していくことができるか。
- ・ 時代の変化に対応し、今後さらに進化する見込みがあるか。

※記載内容が枠に収まらない場合は、適宜、枠を広げたり、改ページしてください。

⑩社会性・波及性（新しい生産スタイルや生活スタイルの構築に向けたもので、その分野にとらわれない産業界・社会全体への影響力、社会的インパクト・話題性があるもの）

当該「技術・事業」の社会的インパクト・話題性について、下記の選考ポイントを参考に記入してください。

《選考のポイント》

- ・当該取組がモデルとなり、同業他社などに横展開された実績があるか、あるいは今後横展開されていく可能性はあるか。
- ・新しい生産スタイルや生活スタイルの構築に向けた産業界・社会全体への影響力があるか。
- ・SDGs の達成や well-being の向上など社会的な取組目標への貢献度はどうか。

⑪【過去の受賞・補助金活用実績】

・貴社（団体）の愛知環境賞の受賞実績

☐ 有 ☐ 無 （どちらか一方にチェック（☑）してください。）

（「有」の場合は、受賞年・賞の種類・受賞タイトル： ）

（「有」の場合は、受賞年・賞の種類・受賞タイトルを記入してください。

（例：2022 愛知環境賞、優秀賞、〇〇を実現する△△技術の開発）

・貴社（団体）の「愛知県循環型社会形成推進事業費補助金」の活用実績

☐ 有 ☐ 無 （どちらか一方にチェック（☑）してください。）

（「有」の場合は採択年： ）

（「有」の場合は、採択年を記入してください。（例：2022 年度採択）

役員等一覧表

企業・団体・教育機関名：〇〇〇株式会社

※ 複数者による申請の場合は申込者ごとに作成してください。

役 員 （2026 年 〇月 〇日現在）

番号	氏名 (ｶﾅ)	氏名	生年月日				性別 M ・ F	法人名	法人住所	役職
			元号	年	月	日				
1	ｶﾝｷｮｳ ﾀﾛｳ	環境 太郎	S	30	01	05	M	〇〇〇株式会社	〇〇	代表取締役社長
2	ｼｭﾝｶﾝ ﾖﾛｳ	循環 次郎	S	35	10	08	M	〇〇〇株式会社	〇〇	社外取締役
3	ｱｲﾁ ﾊﾅｺ	愛知 花子	H	02	05	10	F	〇〇〇株式会社	〇〇	監査役

記載上の注意

- ① 法人にあってはすべての役員（非常勤、社外取締役、監査役も含む）及び支配人並びに営業所の代表者、その他の団体にあっては法人の役員等と同様の責任を有する代表者及び理事等を記載すること。
- ② 社外の役員を記入する場合は、法人名には社外の法人名を記入してください。
- ③ 氏名(ｶﾅ)・氏名は、姓と名の間を一字空ける（全角スペース）こと。
- ④ 生年月日の元号は、明治はM、大正はT、昭和はS、平成はHとすること。
- ⑤ 生年月日の年月日は、半角数字で2ケタになるように記載すること。（昭和40年1月1日生まれた場合は、40、01、01）
- ⑥ 性別は、男性はM、女性はFと記載すること。
- ⑦ 行が足りないときは、行を増やして記載すること。
- ⑧ 応募申込者が市町村（公立学校等も含む）の場合は記載不要。